

2009年7月17日

報道関係各社 御中

社団法人 日本機械学会
広報・情報部 会

日本機械学会および機械系諸団体、8月7日の「機械の日」にあわせて
全国各地でイベントを開催
- 元気が出るものづくりで明るい未来 -

「機械の日・機械週間」について

日本機械学会は、「機械」の意義や役割を広く社会とともに考え、人間と機械との間のふさわしい関係を模索するため、産官学の関係各方面と協力し、2006年に中暦(月遅れ)の七夕にあたる8月7日を「機械の日」、8月1日~7日を「機械週間」(メカウィーク)として制定し、本年も機械系諸団体とともに北海道から沖縄までの全国各地で100以上のイベントを開催します。

このような機会を通じて、若年層の理工系離れ・技術離れの回避、女性を含めた次世代のイノベーターな技術者育成の支援、さらに国際的な技術学術交流の促進を図りたいと考えています。

(<http://kikainohi.jsme.or.jp/>) <別添パンフレット参照>

8月7日は「機械の日」。

「機械の日・機械週間」記念行事

-記念講演，機械遺産認定表彰，作文コンテスト表彰-

8月7日の「機械の日」では、下記のように記念講演，機械遺産認定表彰，ジュニア会友による作文コンテストの表彰を開催致します。あわせて会場ホワイエにて本年度認定の機械遺産パネル、衛星模型、JSTパネルなどの展示を行ないます。

開催日 2009年8月7日(金) 13.00~16.40

会場 芝浦工業大学 豊洲キャンパス(東京都江東区豊洲3-7-5)

参加費 無料

式次第

開会挨拶 「機械の日」実行委員会委員長 谷下一夫

会長挨拶 日本機械学会会長 有信睦弘

13.10~15.20 第1部 記念講演会

(1)「生活の質工学 -人の日常生活を科学工学する-」

金出武雄(産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター長)

(2)「東大阪発!!人工衛星が宇宙へ」 今村博昭(東大阪宇宙開発協同組合理事長)

(3)「22才以下の若手学生が作った航空高専衛星KKS-1『輝汐』」

粟田晃平(東京都立産業技術高等専門学校卒業生) 他12名

15.20~15.50 作文コンテスト表彰

16.00~16.40 第2部 日本機械学会選定機械遺産認定表彰

選定主旨・経緯説明 機械遺産委員会委員長 緒方 正則

(1) 認定証授与式

(2) 代表者挨拶

(3) 閉会挨拶 日本機械学会筆頭副会長 松本洋一郎

国立科学博物館にて開催される長期イベントのご紹介

「機械の日・機械週間」に合わせて、国立科学博物館にて長期的に開催されるイベントも企画しております。(別添パンフレット参照)

- ・展示会「日本の先端科学技術の紹介」
日本機械学会賞(技術), 優秀製品賞, 2007・2008年度認定機械遺産の紹介,
かがくの未来の夢 たなばたたんざくコンテスト

日本の先端科学技術紹介として本会学会賞(技術)受賞技術、本会優秀製品賞受賞製品を紹介いたします。2007年度、2008年度認定の機械遺産のパネル展示と「かがくの未来の夢 たなばたたんざくコンテスト」をおこないます。是非ご来場いただき先端科学技術に触れていただければ幸いです。

開催日 2009年7月28日(火)~8月10日(月)

会場 国立科学博物館 地球館2階フロア

「科学と技術の歩み」展示コーナー (http://www.kahaku.go.jp/visitor_info/ueno/access_area.html)

- ・2009夏休みサイエンススクエアおもしろメカニカルワールド(関東支部主催)

国立科学博物館の夏休み行事の一環として、小中学生を対象にした2009夏休みサイエンススクエアが開催されます。関東支部では8月7日の「機械の日」に関連した企画として参加し、各大学の協力を得て「おもしろメカニカルワールド」のコーナーを設けております。各研究室で作成した模型を使った実験を行うことで、機械工学の原理を平易にやさしくわかりやすく示し、子供たちに慣れ親しんでもらう参加形式を心がけております。今年で11回目になりますが大変好評で、理工系好きの青少年を育成するための一助になればと考えております。

開催日 2009年8月4日(火)~8月16日(日)(8月10日(月)は休演です)

会場 国立科学博物館 (<http://www.kahaku.go.jp/>)

・8月4日(火)~8月6日(木) 地球に優しいクリーンエネルギー(早稲田大学:勝田研究室)

・8月7日(金)~8月9日(日) 自分で作れる!ちょっと不思議な力学おもちゃ(埼玉大学:佐藤研究室)

・8月11日(火)~8月13日(木) プラジカはなぜゆれるの(東京工業大学:木村研究室)

・8月14日(金)~8月16日(日) あれ、水タケで建物の揺れが止まるよ(東京大学:金子研究室)

* 博物館入館料:小・中・高校生は無料、大人・大学生は600円

「機械の日・機械週間」に関するホームページ

<http://kikainohi.jsme.or.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

社団法人 日本機械学会

会員・情報管理グループ 高杉史靖

電話:(03)5360-3503、FAX:(03)5360-3508

E-mail:takasugi@jsme.or.jp

